

# Rev

## Chapter 7

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1 Μετὰ τοῦτο εἶδον τέσσαρας ἀγγέλους ἑστῶτας ἐπὶ τὰς τέσσαρας  
その-後 このことの 私は-見た 四人の 御使いが 立っている ~の-上に その 四つの  
[G3326](#) [G3778](#) [G3708](#) [G5064](#) [G0032](#) [G2476](#) [G1909](#) [G3588](#) [G5064](#)
- γωνίας τῆς γῆς, κρατοῦντας τοὺς τέσσαρας ἀνέμους τῆς γῆς, ἵνα  
角に その 地の 押さえている その 四つの 風を その 地の ~しない-ように  
[G1137](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2902](#) [G3588](#) [G5064](#) [G0417](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2443](#)
- μὴ πνέη ἄνεμος ἐπὶ τῆς γῆς, μήτε ἐπὶ τῆς  
~ない 吹かない-ように 風が ~の-上に その 地にも ~にも-なく ~の-上に その  
[G3361](#) [G4154](#) [G0417](#) [G1909](#) [G3588](#) [G1093](#) [G3383](#) [G1909](#) [G3588](#)
- θαλάσσης, μήτε ἐπὶ πᾶν δένδρον.  
海にも ~にも-なく ~の-上に いかなる 木にも  
[G2281](#) [G3383](#) [G1909](#) [G3956](#) [G1186](#)

この後、わたしは四人の御使が地の四すみに立っているのを見た。彼らは地の四方の風をひき止めて、地にも海にもすべての木にも、吹きつけないようにしていた。

- 2 καὶ εἶδον ἄλλον ἄγγελον, ἀναβαίνοντα ἀπὸ ἀνατολῆς ἡλίου, ἔχοντα  
そして 私は-見た 別の 御使いが 上って-来るのを ~から 日の-出の 方から 持っている  
[G2532](#) [G3708](#) [G0243](#) [G0032](#) [G0305](#) [G0575](#) [G0395](#) [G2246](#) [G2192](#)
- σφραγίδα Θεοῦ ζῶντος; καὶ ἔκραξεν φωνῇ μεγάλη τοῖς τέσσαρσιν ἀγγέλοις  
印を 神の 生ける そして 叫んだ 声で 大きな その 四人の 御使いたちに  
[G4973](#) [G2316](#) [G2198](#) [G2532](#) [G2896](#) [G5456](#) [G3173](#) [G3588](#) [G5064](#) [G0032](#)
- οἷς ἐδόθη αὐτοῖς ἀδικῆσαι τὴν γῆν καὶ τὴν θάλασσαν,  
その-者たちに 与えられた 彼らに 損なうことが その 地と そして その 海を  
[G3739](#) [G1325](#) [G0846](#) [G0091](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2281](#)

また、もうひとりの御使が、生ける神の印を持って、日の出る方から上って来るのを見た。彼は地と海とをそこなう権威を授かっている四人の御使にむかって、大声で叫んで言った、

- 3 λέγων, Μὴ ἀδικήσητε τὴν γῆν, μήτε τὴν θάλασσαν, μήτε  
言っ ~するな 損なっては-ならない その 地をも ~も-なく その 海をも ~も-なく  
[G3004](#) [G3361](#) [G0091](#) [G3588](#) [G1093](#) [G3383](#) [G3588](#) [G2281](#) [G3383](#)
- τὰ δένδρα, ἄχρι σφραγίσωμεν τοὺς δούλους τοῦ Θεοῦ ἡμῶν, ἐπὶ  
その 木々をも ~まで 印を-押すまで その 僕たちに その 神の 私たちの ~の-上に  
[G3588](#) [G1186](#) [G0891](#) [G4972](#) [G3588](#) [G1401](#) [G3588](#) [G2316](#) [G1473](#) [G1909](#)
- τῶν μετώπων αὐτῶν.  
その 額の 彼らの  
[G3588](#) [G3359](#) [G0846](#)

「わたしたちの神の僕らの額に、わたしたちが印をおしてしまうまでは、地と海と木とをそこなってはならない」。



9 Μετὰ ταῦτα εἶδον, καὶ ἰδοὺ, ὄχλος πολὺς, ὃν ἀριθμῆσαι  
 その後 これらの-ことの 私は-見た すると 見よ 群衆が 大きな それを 数えること  
[G3326](#) [G3778](#) [G3708](#) [G2532](#) [G3708](#) [G3793](#) [G4183](#) [G3739](#) [G0705](#)

αὐτὸν οὐδεὶς ἐδύνατο; ἐκ παντὸς ἔθνους, καὶ φυλῶν, καὶ λαῶν,  
 それを 誰も できなかった ~から あらゆる 国民と そして 部族と そして 民族と  
[G0846](#) [G3762](#) [G1410](#) [G1537](#) [G3956](#) [G1484](#) [G2532](#) [G5443](#) [G2532](#) [G2992](#)

καὶ γλωσσῶν, ἐστῶτες ἐνώπιον τοῦ θρόνου καὶ ἐνώπιον τοῦ Ἀρνίου,  
 そして 言語から 立っている 御前に その 御座の そして 御前に その 小羊の  
[G2532](#) [G1100](#) [G2476](#) [G1799](#) [G3588](#) [G2362](#) [G2532](#) [G1799](#) [G3588](#) [G0721](#)

περιβεβλημένους στολὰς λευκάς, καὶ φοῖνικες ἐν ταῖς χερσὶν αὐτῶν;  
 身に-まとして 衣を 白い そして 棕櫚の-枝を ~の-中に その 手に 彼らの  
[G4016](#) [G4749](#) [G3022](#) [G2532](#) [G5404](#) [G1722](#) [G3588](#) [G5495](#) [G0846](#)

その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、

10 καὶ κράζουσιν φωνῇ μεγάλῃ, λέγοντες, Ἡ σωτηρία τῷ Θεῷ ἡμῶν,  
 そして 叫んでいる 声で 大きな 言って その 救いは その 神に 私たちの  
[G2532](#) [G2896](#) [G5456](#) [G3173](#) [G3004](#) [G3588](#) [G4991](#) [G3588](#) [G2316](#) [G1473](#)

τῷ καθημένῳ ἐπὶ τῷ θρόνῳ, καὶ τῷ Ἀρνίῳ!  
 その 座しておられる-方に ~の-上に その 御座に そして その 小羊に  
[G3588](#) [G2521](#) [G1909](#) [G3588](#) [G2362](#) [G2532](#) [G3588](#) [G0721](#)

大声で叫んで言った、「救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる」。

11 καὶ πάντες οἱ ἄγγελοι εἰστήκεισαν κύκλῳ τοῦ θρόνου, καὶ τῶν  
 そして すべての その 御使いたちが 立っていた 回りに その 御座の そして その  
[G2532](#) [G3956](#) [G3588](#) [G0032](#) [G2476](#) [G2945](#) [G3588](#) [G2362](#) [G2532](#) [G3588](#)

πρεσβυτέρων, καὶ τῶν τεσσάρων ζώων, καὶ ἔπεσαν ἐνώπιον τοῦ  
 長老たちの そして その 四つの 生き物の そして ひれ伏した 御前に その  
[G4245](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5064](#) [G2226](#) [G2532](#) [G4098](#) [G1799](#) [G3588](#)

θρόνου ἐπὶ τὰ πρόσωπα αὐτῶν, καὶ προσεκύνησαν τῷ Θεῷ,  
 御座の ~の-上に その 顔を 彼らの そして 礼拝した その 神を  
[G2362](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4383](#) [G0846](#) [G2532](#) [G4352](#) [G3588](#) [G2316](#)

御使たちはみな、御座と長老たちと四つの生き物とのまわりに立っていたが、御座の前にひれ伏し、神を拝して言った、

12 λέγοντες, Ἀμήν! ἡ εὐλογία, καὶ ἡ δόξα, καὶ ἡ σοφία, καὶ  
 言って アーメン その 賛美と そして その 栄光と そして その 知恵と そして  
[G3004](#) [G0281](#) [G3588](#) [G2129](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1391](#) [G2532](#) [G3588](#) [G4678](#) [G2532](#)

ἡ εὐχαριστία, καὶ ἡ τιμὴ, καὶ ἡ δύναμις, καὶ ἡ ἰσχὺς, τῷ  
 その 感謝と そして その 誉れと そして その 力と そして その 勢力が その  
[G3588](#) [G2169](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5092](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1411](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2479](#) [G3588](#)

Θεῷ ἡμῶν, εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων! ἀμήν.  
 神に 私たちの ~へ その 世々の その 世々に アーメン  
[G2316](#) [G1473](#) [G1519](#) [G3588](#) [G0165](#) [G3588](#) [G0165](#) [G0281](#)

「アアメン、さんび、栄光、知恵、感謝、ほまれ、力、勢いが、世々限りなく、われらの神にあるように、アアメン」。

13 Καὶ ἀπεκρίθη εἷς ἐκ τῶν πρεσβυτέρων, λέγων μοι, Οὔτοι οἱ  
 そして 答えた 一人の ~の-中から その 長老たちの 言って 私に この その  
[G2532](#) [G0611](#) [G1520](#) [G1537](#) [G3588](#) [G4245](#) [G3004](#) [G1473](#) [G3778](#) [G3588](#)  
 περιβεβλημένοι τὰς στολὰς τὰς λευκάς, τίνες εἰσίν, καὶ πόθεν ἦλθον?  
 身に-まとっている その 衣を その 白い 誰か ですか そして どこから 来たのですか  
[G4016](#) [G3588](#) [G4749](#) [G3588](#) [G3022](#) [G5101](#) [G1510](#) [G2532](#) [G4159](#) [G2064](#)

長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。

14 καὶ εἶρηκα αὐτῷ, Κύριέ μου, σὺ οἶδας, καὶ εἶπέν μοι,  
 そして 私は-言った 彼に 主よ 私の あなたが ご存知です すると 言った 私に  
[G2532](#) [G2046](#) [G0846](#) [G2962](#) [G1473](#) [G4771](#) [G1492](#) [G2532](#) [G3004](#) [G1473](#)  
 Οὔτοι εἰσίν οἱ ἐρχόμενοι ἐκ τῆς θλίψεως τῆς μεγάλης, καὶ  
 この-者たちは である その 来た-者たちである ~から その 患難から その 大きな そして  
[G3778](#) [G1510](#) [G3588](#) [G2064](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2347](#) [G3588](#) [G3173](#) [G2532](#)  
 ἔπλυναν τὰς στολὰς αὐτῶν, καὶ ἐλεύκαναν αὐτὰς ἐν τῷ αἵματι  
 洗った その 衣を 彼らの そして 白く-した それらを ~の-中で その 血の-中で  
[G4150](#) [G3588](#) [G4749](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3021](#) [G0846](#) [G1722](#) [G3588](#) [G0129](#)  
 τοῦ Ἀρνίου.  
 その 小羊の  
[G3588](#) [G0721](#)

わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとって来た人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである」。

15 διὰ τοῦτό, εἰσίν ἐνώπιον τοῦ θρόνου τοῦ Θεοῦ, καὶ λατρεύουσιν  
 それ-ゆえに このことの いる 御前に その 御座の その 神の そして 仕えている  
[G1223](#) [G3778](#) [G1510](#) [G1799](#) [G3588](#) [G2362](#) [G3588](#) [G2316](#) [G2532](#) [G3000](#)  
 αὐτῷ ἡμέρας καὶ νυκτὸς ἐν τῷ ναῷ αὐτοῦ; καὶ ὁ  
 彼に 昼も そして 夜も ~の-中で その 神殿で 彼の そして その  
[G0846](#) [G2250](#) [G2532](#) [G3571](#) [G1722](#) [G3588](#) [G3485](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#)  
 καθήμενος ἐπὶ τοῦ θρόνου σκηνώσει ἐπ' αὐτούς,  
 座しておられる-方が ~の-上に その 御座の 覆い-守る ~の-上に 彼らを  
[G2521](#) [G1909](#) [G3588](#) [G2362](#) [G4637](#) [G1909](#) [G0846](#)

それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。

16 οὐ πεινάσουσιν ἔτι, οὐδὲ διψήσουσιν ἔτι, οὐδὲ μὴ  
 ~しない 飢えることは-ない もはや ~も-なく 渴くことも-ない もはや ~も-なく 決して-ない  
[G3756](#) [G3983](#) [G2089](#) [G3761](#) [G1372](#) [G2089](#) [G3761](#) [G3361](#)  
 πέση ἐπ' αὐτοὺς ὁ ἥλιος, οὐδὲ πᾶν καῦμα;  
 降り-注ぐことも-ない ~の-上に 彼らに その 太陽も ~も-なく いかなる 熱も  
[G4098](#) [G1909](#) [G0846](#) [G3588](#) [G2246](#) [G3761](#) [G3956](#) [G2738](#)

彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。

17	ὅτι	τὸ	Ἄρνιον	τὸ	ἀνά	μέσον	τοῦ	θρόνου	ποιμανεῖ	
	なぜなら	その	小羊が	その	～の-真ん中の	中心におられる	その	御座の	牧する	
	<a href="#">G3754</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G0721</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G0303</a>	<a href="#">G3319</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G2362</a>	<a href="#">G4165</a>	
	αὐτούς,	καὶ	ὁδηγήσει	αὐτούς	ἐπὶ	ζωῆς	πηγὰς	ὕδατων,	καὶ	ἐξαλείψει
	彼らを	そして	導く	彼らを	～へ	命の	泉へ	水の	そして	拭い-取る
	<a href="#">G0846</a>	<a href="#">G2532</a>	<a href="#">G3594</a>	<a href="#">G0846</a>	<a href="#">G1909</a>	<a href="#">G2222</a>	<a href="#">G4077</a>	<a href="#">G5204</a>	<a href="#">G2532</a>	<a href="#">G1813</a>
	Θεὸς	πάν	δάκρυον	ἐκ	τῶν	ὀφθαλμῶν	αὐτῶν.			
	神が	すべての	涙を	～から	その	目から	彼らの			
	<a href="#">G2316</a>	<a href="#">G3956</a>	<a href="#">G1144</a>	<a href="#">G1537</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G3788</a>	<a href="#">G0846</a>			

御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐい下さるであろう」。